

お申し込みサイト

高校生の方



<https://info.ecozzeria.jp/msc2023h>

大学生・  
大学院生の方



<https://info.ecozzeria.jp/msc2023u>

※オリエンテーションへの参加は必須です。全日程にご参加いただけますようお願いいたします。

※定員に達し次第、募集を締め切らせていただきます。

※オリエンテーションについて、ZoomのURLはお申込み後にメールにてお知らせいたします。

① 参加人数に限りがございますので、お申し込み後のキャンセルはお控えくださいますようお願いいたします。

受講対象	高校生、大学生・大学院生
開催日時	オリエンテーション：2023年8月4日(金) 18:30～20:00 メインプログラム：2023年8月9日(水)～8月11日(金) 各日10:00～17:30 ※オリエンテーションへの参加は必須です。※全日程にご参加いただけますようお願いいたします。
参加方法	オリエンテーション：オンライン (Zoom) メインプログラム：会場 (3×3Lab Future)
定員	60名 (高校生30名、大学生・大学院生30名) ※定員に達し次第、募集を締め切らせていただきます。※全日程オンライン開催となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
参加費	無料
主催	三菱地所株式会社 エコツェリア協会
お問合せ	エコツェリア協会 丸の内サマーカレッジ2023事務局 <a href="mailto:marunouchi-sc@ecozzeria.jp">✉ marunouchi-sc@ecozzeria.jp</a>

### 丸の内サマーカレッジ2023 企画・事務局



エコツェリア協会  
田口 真司  
プランナー/司会



エコツェリア協会  
小西 政弘  
事務局



エコツェリア協会  
長倉 有輝  
事務局



エコツェリア協会  
柴田 柁彦  
事務局



### 会場 3×3Lab Future (さんさんラボ フューチャー)

東京都千代田区大手町1-1-2 大手門タワー・ENEOSビル1F  
TEL:03-6266-9400

東京メトロ (東西線・千代田線・半蔵門線・丸ノ内線・都営三田線)  
「大手町」駅 (C10出口) より徒歩約2分



# Marunouchi Summer College

at 3×3Lab Future

# 丸の内 サマーカレッジ 2023

高校生・大学生が  
未来の社会を  
創り上げる3日間

参加費  
無料

8月9日(水)～11日(金)

※8月4日(金) オリエンテーション



未知の世界に触れる

Research



新しい出会いと対話

Communication



アイデアディスカッション

Idea Discussion





# 高校生・大学生が 未来の社会を創り上げる3日間

学生ので“未来”に新たな風を

28万人のビジネスパーソンが集い、日々新たなビジネス創出に向けて様々な取り組みが行われている大丸有(大手町・丸の内・有楽町)エリア。この「丸の内サマーカレッジ」では、変わりゆく社会と一緒に学び・創り上げる3日間をお届けします。

他学校・大学の仲間と交流し、様々な社会人の生き方をのぞきながら今後の未来のヒントを掴んでいただき、これからのサステイナブルな社会に向けたアイデアを考えます。

## オリエンテーション

8/4(金) 18:30 - 20:00

メインプログラムに向けて、共にチャレンジする仲間と交流しましょう!  
※参加方法: オンライン

## 講師陣



長岡健氏

法政大学経営学部教授

慶應義塾大学経済学部卒、英国ランカスター大学博士課程修了(Ph.D)。研究テーマは「創造的なコラボレーションのデザイン」。社会理論、学習理論、コミュニケーション論の視点から、多様なステークホルダーが織りなす関係の諸相を読み解き、ライフスタイルや働き方の「未来の姿」を探索中。



岩井秀樹氏

福島大学地域未来デザインセンター  
副センター長 経済経営学類 教授

1981年東京海上入社、主にIT部門で基幹システムのアプリ開発、経営統合プロジェクト等を担当。2012年同社退職・独立、石巻(震災復興)と東京(組織開発・イノベーション人材育成)の2拠点で活動。2017年福島大学・経済経営学類・教授、昨年同大学・地域未来デザインセンターで福島の地域課題解決、イノベーション人材育成に取り組んでいる。



岩元美智彦氏

株式会社JEPLAN  
取締役 執行役員会長

1964年鹿児島県生まれ。1987年3月、北九州市立大学経済学部卒業。卒業後に就職した繊維商社では営業職に携わるなか、容器包装リサイクル法の制定を機に繊維リサイクルに深く携わる。2007年1月日本環境設計(現: JEPLAN)を設立。資源が循環する社会づくりを目指し、リサイクルの技術開発だけでなく、メーカーや小売店など多業種の企業とともにリサイクルの統一化に取り組む。



榎本博之氏

B-Bridge International, Inc. / President&CEO

1985年大学卒業後、東洋紡に入社。1996年、シリコンバレーのバイオテックスタートアップに転職のため渡米。グローバル販売の統括を手掛け、43か国の販売代理店整備などを行う。2000年のB-Bridge Internationalをシリコンバレーに立ち上げ、バイオテック関連の商材の研究開発や製造販売を行う。その後、バイオに留まらず日本企業の米国進出支援や、アントレプレナーシップ教育や研修を手掛ける。

## メインプログラム

DAY1 8/9(水)

DAY2 8/10(木)

DAY3 8/11(金・祝)

10:00 - 12:00	<b>講演1</b> 「学び」を「実践」へ発展させる3日間のはじまり 講師: 長岡健氏 オープニングとなる本講義では、学んだ知見を、自分ごととしてとらえ、実践にどう活かしていくかの心構えを教わります。また本プログラム3日間を通して活動するグループを組成するため、ワークショップも開催します。	<b>講演3</b> ※オンライン登壇 グローバルな視点を体感しよう 講師: 榎本博之氏 米国シリコンバレーで起業家として活躍する榎本さんから、グローバルでビジネスを展開するということの本質や、「日本の常識=世界の非常識」であるという皆様の世界観を広げるお話をいただきます。	<b>講演5</b> 越境と幸せ 講師: 岩田結実氏、前野マドカ氏 会社の枠に縛られず多様なコミュニティと関わる「越境」を推進する岩田さんと、「幸せ」について研究し、ウェルビーイングな社会を目指す前野さんから、越境の効果と幸せの本質についてご解説いただきます。
	12:00 - 13:00	昼食	
13:00 - 15:00	<b>講演2</b> 社会課題を自分ごととしてとらえるには 講師: 岩元美智彦氏、岩井秀樹氏 「あらゆるものを循環させる」というビジョンを掲げ、資源循環事業を展開する岩元さんと、被災地復興やイノベーション人材の育成に取り組む岩井さんから、社会課題解決に取り組むきっかけや現在の活動についてお話をいただきます。	<b>講演4</b> 都市と地域、大企業とスタートアップ 講師: 鎌北雛乃氏、向井裕人氏 地域のまちづくり事業から首都圏の大企業に転職しイノベーション事業を行う鎌北さん、一方首都圏の大企業から地域のまちづくり事業を立ち上げた向井さん。相反する経歴を歩むお二人だからこそ話せるキャリア観をお伝えします。	<b>ワークショップ2</b> 発表準備 テーマ発表の方法について学びます。これまで検討してきたテーマ内容について、チームごとにプレゼンテーションの準備をします。
	15:00 - 15:30	休憩	
15:30 - 17:30	<b>フィールドワーク</b> 大丸有街歩きツアー 大丸有(大手町・丸の内・有楽町)エリアがどのような歴史から現在に至るのか、これまでの歩みと未来に向けたまちづくりに関してお伝えします。	<b>ワークショップ1</b> テーマ検討 それぞれのチームが選択したテーマについて、関連する事項やキーワードを抽出し、各テーマのストーリーラインを作り上げます。	<b>ワークショップ3</b> 発表 チームで検討してきた内容を発表します。この3日間の成果発表として、ビジネスパーソン向けにプレゼンテーションしていただきます。

※参加方法: 会場



鎌北雛乃氏

コミュニティデザイナー

1996年生まれ。学生の頃からジャンルを問わないコミュニティ活動に参画し、20歳の時に仲間と共に起業。人口7,000人の町に移住し、観光事業、情報発信事業、コンサルティング事業、コミュニティスペース運営などを実施。2019年から、総合商社が運営する大手町のオープン・イノベーション・ラボに参画。コミュニティデザイナーとして、メンバー同士のコミュニケーション活性化、マッチング、コミュニティ形成や活性化のためのプログラム企画・運営、広報・PRなどを軸に活動している。



岩田結実氏

株式会社ウィル・シード

群馬県出身。東京学芸大学音楽科卒業後、学習塾勤務を経て、株式会社ウィル・シードに入社。現在に至るまで、企業人材教育(研修)を中心に、教育プログラムの企画・営業・運営に携わる。異業種カンファレンスをはじめ、面白がって学べる教育プログラム企画を試行錯誤中。



向井裕人氏

MYSH合同会社 代表社員

奈良県出身。日産自動車(経営企画)ほか計4社で社員を経て、2015年脱サラ。企画力・数値化力・コミュニティ構築力のスキルが強み。たこ焼き屋、日本酒バー経営もやり、今は、大手企業向け経営コンサルティングと福島と奈良でのまちづくり事業が主軸。MYSH合同会社とGlide Path株式会社を経営。



前野マドカ氏

EVOL株式会社 代表取締役 CEO  
慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究所研究員  
一般社団法人ウェルビーイングデザイン 理事

サンフランシスコ大学、アンダーセンコンサルティング(現アクセンチュア)などを経て現職。幸せを広めるワークショップ、コンサルティング、研修活動及びフレームワーク研究・事業展開、執筆活動を行っている。システムデザイン・マネジメント学、幸福学の研究者である前野隆司の妻。二児の母。著書に『ウェルビーイング』『そのままの私で幸せになれる習慣』『月曜日が楽しくなる幸せスイッチ』など。